

景観配慮協議申出書

2022年8月6日

(宛先) 鎌倉市長

住所 東京都渋谷区道玄坂一丁目9番5号

届出者 氏名 東急リパブル株式会社

アセット事業本部長 田仲慶三

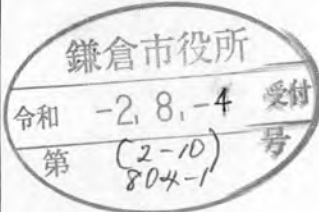
電話 03 (3463) 6575

住所 東京都足立区谷中4-14-4

代理人 氏名 株式会社エス・ティップランニング

佐藤 浩司

電話 03 (6802) 5025



〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

次のとおり申し出ます。

土地利用類型 の 名 称	鎌倉地域まち並み型商業地		
景 観 地 区	<input checked="" type="checkbox"/> 内 (鎌倉景観地区) <input type="checkbox"/> 外		
設 計 者	住 所	東京都足立区谷中4-14-4	
	氏 名	株式会社エス・ティップランニング 佐藤 浩司	電話 03 (6802) 5025
行 為 の 場 所	地 名 地 番	鎌倉市御成町129番7	
	用 途 地 域	商業地域	防火地域 <input checked="" type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 準防火 <input type="checkbox"/> 指定なし
	そ の 他	<input type="checkbox"/> 風致地区 <input type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input type="checkbox"/> その他 ()	
行 為 の 種 類	建 築 物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開 発	<input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特 定 地 区	<input type="checkbox"/> 内 (<input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
行 為 の 期 間	着手予定	R3年2月1日	完了予定 R4年1月30日

(裏)

建築物の概要	用途	飲食店・物販店舗・事務所等			
	最高の高さ	14.98m	階数	地上 4 階 地下 1 階	
	構造	鉄筋コンクリート造			
	敷地面積	433.38m ²			
	建築面積	345.62m ²	届出以外の部分	m ² 合計 345.62m ²	
	延べ面積	1,682.81m ²	届出以外の部分	m ² 合計1,682.81m ²	
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	<input type="checkbox"/> 高架水槽 m <input type="checkbox"/> その他 m			
	色彩の変更部分とその面積	面積 m ²			
仕上材	屋根	アスファルト防水の上 押えコンクリート	色彩	屋根	グレー:2.5Y/6.0/0.5
	外壁	意匠性塗装仕上 タイル貼 アルミ木調ルーバー		外壁	黒:N3.0 薄いグレー:2.5Y/9.0/0.5 濃いグレー:2.5Y/8.0/0.5 ペーパージュ:2.5Y/8.5/2.0 茶系:10YR/7.0/6.0
開発行為の概要	開発区域の面積	m ²			
	行為の目的	分割 (区画) (最小区画面積 m ²) その他 ()			
	行為の内容	切土 (m ³) 盛土 (m ³) その他 ()			

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例: 日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着 眼 点	計 画 地 周 辺 の 現 況 等 記 入 欄
地 域 的 特 徴	中層の店舗からなる鎌倉地域の駅前商業地である。
まち並みの連続性	古都の中心市街地にふさわしい風格と活力を兼ね備えた街並みが連続している。
周辺建物のデザイン	周辺建物は中層以下のスカイラインが継承されている。
眺 望 景 観	眺望点からの見え方に配慮した建物ボリューム、配置、色彩である。
景 観 資 源	景観資源を引き立たせるための隣接する部分の緑化やセットバックがされている。

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
配 置	◎	市役所通りの歩行空間に協力し、1階をセットバックした配置としている。
形 態 意 匠	◎	木調ルーバーを外壁面に設けることで、街並み景観に配慮した計画としている。
色 彩	◎	彩度及び明度の高い色は避け、落ち着いた色とし、周辺との調和を図る計画としている。
建 築 設 備	○	屋上に建築設備が計画されているが、極力道路や駅側から見えにくい位置に配置している。
外 構 緑 化	◎	歩道と隣接する部分に植栽を配置し、うるおいが感じられる緑化計画としている。

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
造 成		
擁 壁		
敷き際・緑化		